

リーディングDXスクール事業【実践事例】

垂水市立垂水小学校（鹿児島県）【指定校】

【取組内容】 自由進度学習におけるタブレット端末の活用

単元内自由進度学習を実施する上で、タブレット端末の活用は有効的である。

単元内自由進度学習では、学習方法を、「一人で学ぶ」、「友達と学ぶ」、「先生と学ぶ」のいずれかを自己選択している。「一人で学ぶ」を選択する児童の多くは、タブレットを使って調べたり、まとめたりする活動を行っている。



また、学習の計画を立てる際に、計画カードをタブレットを活用して作成したり、学習の途中で進捗状況を把握・共有するための状況カードを配信したりするなど、確認・把握を目的として活用している。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

垂水市立垂水小学校（鹿児島県）【指定校】

【取組内容】 遠隔合同授業



小学生の時から、大人数の学習に慣れることや交流を深めることでお互いに顔を覚えることなどを目的として行っている。また、小規模校にとっては多様な意見に触れる貴重な機会となる。

子供たちの感想は、交流することができて楽しかった、お互いの意見を交換することができてよかったなどの好意見が多かった。

本市は、8小学校（ただし1校は休校中）・1中学校であるため、全ての小学生が、中学校で合流することになる。つまり、いずれは、1つの学校でいっしょに学習することになる。

本校は、1学年が2クラスの中規模校であるが、残りの6小学校は、複式の学級である。中学校では、クラスの大半が、本校の生徒ということになる。そのため、



リーディングDXスクール事業【実践事例】

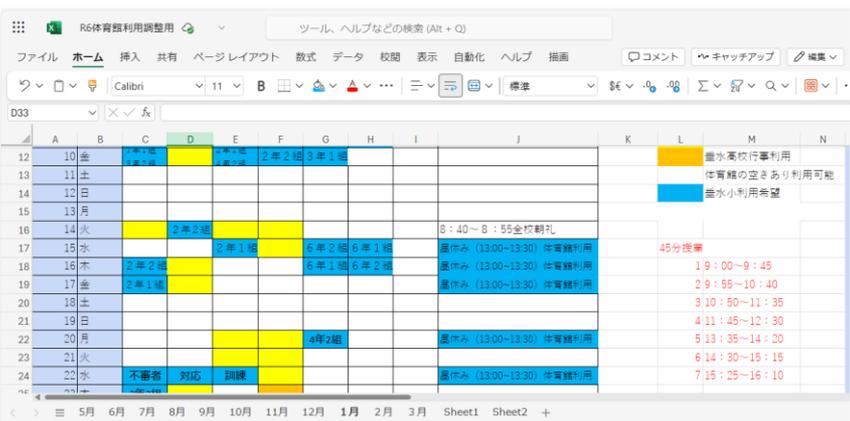
垂水市立垂水小学校（鹿児島県）【指定校】

【取組内容】 ファイル共有アプリを活用した情報共有

【職員連絡会での運用】

職員間での情報共有の場として、本校では職員連絡会を設けている。

係（校務分掌担当）からののお知らせや学級担任からの情報提供など、内容は幅広く、共通理解を図るために、Teams (Microsoft) にWord (Microsoft) ファイルをアップロードし、共同編集ができるような状態にしている。追加や変更等があった際も、入力ができるため、その場で加除修正ができ、後から見直す際にも重宝している。



【垂水高等学校との連携】

昨年度から今年度にかけて、本校の体育館を改修している。そのため、本校の体育館が使用できない。

そこで、隣接している垂水高等学校の体育館を利用させてもらっている。その際、体育館を使えるか確認する方法として、Teams (Microsoft) にExcel (Microsoft) データをアップロードし、月別カレンダーに予約入力することで、スムーズに体育館を利用できるようにしている。

Excel (Microsoft) データをアップロードし、月別カレンダーに予約入力することで、スムーズに体育館を利用できるようにしている。